

## 一般教科における情報化

須磨学園高等学校

宮浦 修造

s-miyaura@suma.ac.jp

### 1. 須磨学園の情報化

- (1) PCを使った授業の開始 (1984年4月)
  - ・ N88BASICによるプログラミング
  - ・ ワープロの授業
  - ・ 全商情報処理検定・ワープロ検定・コンピュータ利用技術検定
- (2) 阪神淡路大震災 (1995年1月)  
インターネット環境と学籍管理システム導入の必要性を感じる
- (3) 須磨学園キャンパスネット導入・HPの立ち上げ(1997年8月)  
学籍管理・教務システム運用開始(1998年4月)
- (4) マルチメディア教室完備(1999年3月)  
情報教室3教室になる
- (5) 男女共学化・教職員にノートPC補助(1999年4月)
- (6) 2001年3月 グループウェア(FirstClass)導入
- (7) 2002年11月 須磨学園掲示板運用



### 2. 教職員のIT活用

- (1) 個々の教科担当・担任が操作する教務システム
- (2) ノートPCの補助によるひとり一台のPC環境(2000年)
- (3) ISO14001取得に向けペーパレスの方向への取り組み  
グループウェアの導入 メール履歴がわかる
- (4) 保護者会等では、PowerPointによる説明の義務化

### 3. 各授業でのコンピュータ活用の実践を推進

- (1) 音楽・美術の授業での活用

2年次の選択授業のうち2学期は音楽、3学期は美術をマルチメディア教室に割り当てる

#### (ア) 音楽での活用(倉橋伊都子教諭)

指導の目的: コンピュータを使ったマルチメディア教育の一環として、DTMを利用し、音楽そのものの興味を持たせ、また、コンピュータの有効活用法を学びながら、操作や技術、想像力のさらなる向上をめざす。

使用ソフト: YAMAHA XGworks 指導時間: 10時間



(イ) 美術での活用 (西田真人教諭)

指導の目的：色の3属性、色面の大小等、配色について学習する。その導入部でコンピュータを操作し、そのメリットである色や形のシュミレーションを十分に学習したい。コンピュータで操作することの楽しさを大切にしたい。

使用ソフト：Adobe Photoshop

指導時間：6時間



(2) 家庭科の授業での活用 (宗行由歌教諭)

家庭一般のホームプロジェクトの実践 (2年特進コース)

家庭の中での問題の発見 調べる 解決 (Plan Do See)

(例) 消費生活とエネルギーの分野 リサイクルの分野 人の人生と家族の分野

Power Pointで作成 クラス発表 文化祭での発表

家庭科の授業での活用 (三宅えみこ教諭)

身障者トイレマッププロジェクト (明石高校、西宮今津高校、播磨養護学校)

<http://www.adminteachers.com/yoc/13net/13net-toiret-index.html>

のトイレマップ作成の協力

(3) 地歴科の授業での活用 (増田亜依教諭)

NHK 『映像の世紀』のDVDを視聴、SKY DIGITAL CLASS および液晶プロジェクタを用いて プリントのまとめ

夏期休暇中の補講等で 活用する教師が増える

(4) 英語科の特別講座で活用 (山本恵美子教諭)

グローバルイングリッシュ

(5) 3学年での取り組み

卒業論文集 3年生が3学期情報教室や図書室等で将来の進路に関係があるテーマで調べ、まとめ (8000字) 自分でWordにて入力、写真製版

4. これからの課題

『須磨学園を卒業した生徒はPCに関してこれだけの操作・活用ができる』という目標を設定し実践していきたい。

進学校を目指す方向性の中、情報機器を活用した授業の研究・浸透はなかなか難しいが、教育効果の向上を目標に今後いろいろな教科での実践をし、また、e-learningの教材も作成していきたい。